



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見) 淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 969 回(11 月 5 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 浜野君、寶積君
ビクター 米山奨学生 金強重君

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34 名	29 名	84.38%	78.13%

会長の時間

栗原(憲)会長

10 月 30 日(水)に国際奉仕委員会セミナーがありましたので、稲見会長エレクトと出席してきました。「ミャンマーへの報恩」という演題で、パストガバナー今泉清詞氏の卓話がありました。また、日豪青年相互訪問団員候補者募集案内などがありました。



11 月 3 日、入間基地の航空祭に行ってきました。観覧席から見る飛行機の演技は迫力がありました。

今日の会長の時間では「日本茶めぐり」に掲載されている「お茶のことわざ、あれこれ」を紹介させていただきます。

朝茶に別れるな

朝にお茶を飲む習慣は止めてはいけないという意味です。昔から朝にお茶を飲むと、災難から逃れたり、幸運が訪れると思われており、「朝茶はその日の難逃れ」「朝茶は福が増す」ともいわれます。また、これらのことわざは、お茶が健康によいことが経験的に知られていたことを示す例であるともいわれています。

朝茶は三里行っても飲み

忙しくて時間がなく、朝にお茶を飲まずに出かけたときでも、せめて途中でお茶を飲むという意味です。これを強調したものとして「朝茶は七里帰っても飲み」ということわざがあります。里は

距離を表す単位で約 4 キロ。七里は約 28 キロになりますが、それだけ引き返しても、朝にお茶を飲むことは大切であると伝えていきます。

鬼も十八、番茶も出花

安い番茶でも、入れ立てのものはおいしいように、たとえ鬼でも若いときはそれなりにかわいいところがあるという意味です。

茶柱が立つと縁起がいい

茶柱とは、お茶に混じった茎のことです。お茶に混じった茶柱が茶碗の中で立つのは、めったに起こらないことであり、そのめったにないことが起こるということは、縁起がいいことだと解釈されてきました。ほかに「茶柱が立つと子ができる」「茶柱が立つと来客がある」ともいわれます。子ができるというのはめでたいこと、後者の場合来客とは、うれしい客を意味しています。

猫も茶を飲む

お茶の味がわかるはずのない猫がお茶を飲むように、分不相応なことをすることのたとえです。

よい茶の飲みおき

良いお茶は飲んだ後、いつまでも味や香りが口の中に残っているという意味です。転じて、やはり何でも惜しまずいいものを使ったほうがいいことを表します。

幹事報告

宮野幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 11・12 プログラム承認
- (2) 地区 2012~2013 年度会計報告について
- (3) ボーイスカウト運動支援金について
- (4) 新入会員入会金について
- (5) 2 月以降の外来卓話講師紹介について
 1. 地区大会本会議において審議される、会計規定案へのクラブとしての意見・質問について
 2. 松本茂太郎 R I 会長代理プロフィールについて
 3. 骨髄移植推進財団設立 20 周年キャンペーン舞台「友情」上演支援に対する御礼状について
 4. 地区事務所執務時間変更について
 5. 入会希望者、佐々木康様の対応について

6. 国際ロータリー第 2570 地区インターアクト
クラブ合同奉仕活動報告について
7. 協働フォーラム開催について
8. 例会変更 入間RC
9. 受贈会報 所沢RC 所沢西RC
所沢東RC 所沢中央RC
10. 回覧物 難民を助ける会AARニュース

委員会報告

親睦活動))))))))))) 小島委員長)

家族同伴親睦旅行の件について、11月12～13日で四万温泉に行きますが、出発時間が10時になっておりますので、10分位前にご集合頂ければと思っております。集合場所ですが、東武サロンを出て、中央図書館の方へ下がって行きますと、図書館の手前の右側にバス停がありますので、そちらにお集り下さい。従来(東口)とは反対側(西口)になりますので、お間違えの無いようお願い致します。

社会奉仕))))))))))) 佐藤委員長)

フリーマーケットでは、皆さん本当にご協力ありがとうございました。売上の方も約181,000円ほど集まりまして、また使い道については考えたいと思います。また当日、故山内会員の奥様からフリーマーケットの売上協力金として頂戴しましたので、ご報告致します。

)
米山奨学生 **金強重君**

ありがとうございます。

私が今活動している、留学生会で企画していることがありますので、お伝えしたいと思います。11月24日に韓国のプロシンガーたちを招いて、「なかのZERO」というホールをお借りして温かいコンサートをやるつもりでいます。「なかのZERO」は1200名位入るホールです。もし興味がありましたら、無料ですでお声掛け下さい。

「会員卓話」・・・・・・・・

『地球一周旅行を終えて』

田中隆行会員

今回の旅行につきましては、約3ヶ月間という長旅でした。横浜を出発して、447,000kmという距離の船旅をしてまいりました。寄ってきた国は、約20ヶ国、東南アジアを始め、ヨーロッパ、中近東、そしてカリブ海の国々と回ってきましたが、それぞれ皆違った思惑の国が沢山ありました。ヨーロッパ、そしてカリブは初めてで



ございましたが、ヨーロッパという国は、私が見ても何か非常に安定して素晴らし国々が沢山ありました。それと引き換え、中近東、特にカリブの方にいきますと、貧富の差がもの凄く感じられました。タクシーにも実際に乗りましたが、日本ではポンコツに等しいような車がタクシーとして走っており、座席の下を見ますと、道路が見えるのです。これには驚きました。穴が開いており、半分立っている状態なのですが、そうした車が平気で、しかも信号がないので、もの凄いスピードで走っているのです。これは怖かったです。「危ないよ」と言っても、言葉が通じませんので、全くの無視で、これには驚きました。そして良い所は、非常に立派な家がずっと軒を連ねて並んでいるのですが、その家々1軒1軒に鉄条網のようなものが張られておりました。泥棒等が非常に多いということで、中には門番もあり、非常に警戒をしておりました。そして町のいたるところ、これはエルサルバドルでしたが、食堂・レストランに行けば、小銃を構えた人間が、迷彩服を着て立っているのです。ガイドから、目を合わせると寄ってくると言われていたので、合わさないようにチラッと見ると、向こうもチラッと見るのです。撃つてはこないと思っても、やはり不気味な感じが致しました。そしてジャマイカも田舎の方にいきますと、こういった所がございました。

先般も少しお話致しましたが、海の色が全て違ったということがわかりました。まず南シナ海から始まりましたが、この色はスカイブルーで、とっても綺麗でした。次がインド洋、これはブルーでも非常に濃い、濃紺に近いブルーでした。従って下の方はほとんど見えませんでした。そして次が地中海、こちらはもっとすごく、真っ黒のような色でした。そして大西洋は、紺ではなくグリーンでした。カリブ海は非常に浸透の強い、透き通った薄い緑でした。そして最後は太平洋、こちらは濃い緑色で、このように海の色は必ずしも一色ではないということが、実際に自分が回ってみて初めて分りました。どうしてこんなに違うのかということを知りましたところ、海流や海の深度、そして光が陸に反射したり等で海の色は当然違って見えるといい、これはあくまでも見た目の感じだと、教えて頂きました。非常に興味深かったです。



今回の航海中で、2つの世界の運河を通して参りました。1つはアラブのスエズ運河、こちらの幅は約200m~300m位の、砂漠にずっと掘ったような、なんの変哲もない非常に単純な運河でございました。陸には兵隊が沢山おり、皆銃を持っておりました。しかし我々の船に対



しては、皆さん手を振ってくれ、それに対して我々も手を振るなど、なんとなく和やかな良い感じでした。非常に長かったのですが、圧巻だったのが、世界から集まってきた船が、船団といって良いのでしょうか、約 5km 位沖に大きな船が連なって通っていき、船がこんなに近づいても良いのかといったようなことも感じました。

旅行中の 3 ヶ月の間に、特に私自身が印象に残ったものは運河です。そして運河でもパナマ運河の方です。これは人工的に作ってあり、完全な水圧で船を上げたり下げたりしており、なかなかお話しするのが難しいと思います。あの大きな船が一つ一つ、水門が閉まって、水が入ってきて浮いて、そして次の段に行くという繰り返しで、上がったたり下りたり、こうしたことを繰り返して船が次の海に行く、これが非常に興味深く圧巻でしたので、皆様も縁があれば一度行って見て頂けると良いと思います。2 つの運河の中では、私自身はパナマ運河が非常に印象に残っております。



もう一つ印象に残った所は、皆さんも行かれたことがあるかと思いますが、ローマのバチカン、そのバチカンの中の、世界から約 20 万人の方が毎日のように観光に来られるという案内をされました、バチカン美術館のシスティーナ礼拝堂、これに関しては「凄い」という言葉一言でございました。世界の国々から多くの人々が来ており、実際に入るのに約 2 時間～3 時間待ちでございました。中に入っても、どんどん押されてしまい、そして現地のガイドさんも付きましたが、言葉がわからず、私自身は何もわかりませんでした。ただ絵を見て凄いということくらいしか分かりませんでした。これはやはり一見の価値はあるのではないかと感じております。



もう一つ凄いと思った国がモナコ、この国も世界のブルジョアの方たちが集まった国だという印象をまず受けました。ヨットやボートが港いっぱい並んでおりまして、それぞれの国旗を掲げておりました。アメリカがやはり多いと思いましたが、恐らく一隻何十億という船ではないかと思いますが、港にずっと連なっておりました。そしてモナコと言えばカジノ、その辺りの所に行きますと、停まっている車もさすがに凄いと言った感じでした。ロールスロイスを始め、カウンタック等の車がずっと並んでいるのです。



他の国の若い方たちはその車をみて歓声をあげ、そして写真をバチバチと撮っておりました。残念なことにカジノの中に入ることはできませんでしたが、表から見ても凄いという印象、そして話によりますと、きちんと正装して行かなければ、中には入れないということです。そしてモナコの細い道を、モナコグランプリでは、時速数百キロでガンガンと上がって行くという圧巻はすごかったのではないかと想像を致しました。

国々によって、文化の違いというものをさまざま見て参りました。こうして見た時、私も日頃は気づきませんでした。日本という国は「中級」とお話をされているようですが、私も日本はさほど貧富の差もなく、一般的な中級の国だという印象を受けました。どの家庭に行っても、車、家電がありますが、先ほどお話しした中近東やカリブの国々、あるいはベトナムになりますと、なかなかこうしたものもないのではないかと思います。エルサルバドルにいた時の話になりますが、一カ月の平均の生活水準が約 3 万円、これで親子 4 人が、裕福ではないけれども普通の生活ができると言っておりました。約 1 日 1000 円、とても日本では考えられません。世界は広いとつくづく思いました。

今度は船そのものについてのお話です。豪華客船と言うには程遠いと思いましたが、船そのものは約 3 万 5 千トンで、この船はパナマ運河を通る、目一杯の大きさだと言われておりました。乗客は今回約 800 人おり、その 8 割強が日本人でした。その日本人の中で、一番多かったのがご夫婦です。大体皆さん 60 歳以上の、定年を迎え、そしてご褒美で乗られたという方が一番多かったように思います。次がお母さんと娘さんという組み合わせ、次がお姉さんと妹さんという組み合わせ、そして最もポピュラーな女性のお友達のという組み合わせの方は、2 人もしくは 4 人というグループでした。ちなみに私が見た中では、親父と息子、兄貴と弟という組み合わせはほとんどなかったように思います。そして男同士の 2 人は全くありませんでした。なぜこんなことが分るかと言いますと、90 日間の中には船に乗ったお客様で、県別に分けたような会合がありまして、東京都出身集まれというようなことになり、1 杯飲みながら、自己紹介等をしながら話してみると、今お話ししたようなことが大体わかりました。

夜は非常に楽しかったです。船の中にはレストランの外にクラブが 3 つありまして、1 つには生バンドが入っていて、ダンスもできる場所でした。比較的酒は安かったので、私も各クラブにボトルを 1 本ずつ入れてみました。知り合った方、船友と言いますが、1 杯いかがですかということから始まり、色々な話のできたので、夜は非常に楽しかったです。今回、若い方たちが沢山乗っていましたが、聞いてみると、男性の 30 代、40 代の方はほとんど

おりませんでした。女性は20代、30代の方は割と多かったのですが、看護師、医療関係の方が、多かったです。今回何故船に乗ったのかと聞きますと、仕事を辞めて乗りましたと言っており、次は？と聞くと、私は帰ればすぐに仕事があるからと言っておりました。そして学生が夏休みを利用して、横浜から横浜ではなく、トルコ等まで飛行機で来て、一番効率が良いのがヨーロッパだけ1日おき位で回るツアーがありましたので、それを回って、トルコ、ギリシア、キプロス、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガル、モナコ、そして帰るということになると、約1ヶ月位で旅行ができ、こうしたツアーの組み方も非常に合理的で、金銭的にも非常に安く、学生さんらしい乗り方だと思いました。私も孫が今大学2年生と4年生ですが、4年生の子はもう来年就職が決まっておりますが、2年の子は来年の夏休みあたりに1ヶ月位行くのもいいかなと思っております。見ず知らずの国へ行き、色々なものを見てくることを若いうちから体験することは、なかなか素晴らしいのではないかと思います。

私は若い頃から、1回地球を回ってみたいと思っておりましたが、やっとこの年になって実現できたということが本音でございます。皆さん方もお忙しいでしょうが、できれば1度このような経験もよろしいのではないかと思います。

ニコニコボックス

栗原(憲)君 田中(隆)会員、卓話よろしくお願致します。

宮野君 フリーマーケット当日は、30年ぶりに体調を崩しお休みしました。本当に申し訳ありません。田中(隆)様、イニシエーション・スピーチよろしくお願致します。楽しみです。

江原君 田中隆行様、本日の会員卓話楽しみにしておりました。船上での或いは船室での様々なお話しをよろしくお願致します。

会員誕生祝 栗原(成)君

結婚記念日 田中(隆)君